

## アソカ講話055

テーマ「理事長の講話から学ぶ ①・・小さきものが集まり助け合う」

1月職員研修で理事長から講話頂いた。そのいくつかを紹介したい。

「菜の花・・その花は鮮やかな黄色であって清楚、そしては小さな花が集まり見事な一つの花畑を作る、その姿は清楚でありながらバイタリテイにも溢れている。そして一つ一つの花は小さいけれど、たくさん集まると力を発揮し、見るものを癒し感動を与えてくれる。私達小規模の法人にふさわしい名だと思う。イワシは一匹では弱いけれど数万の大軍となり魚群を形成し大きくなる。小さなものが集まり互いに助け合い大きな力を生む。菜の花やイワシのように互いに助け合い力を発揮する施設になることを願っている」と。

新しい施設の名は「なの花」。理事長の命名への思いを聴き、改めて新しい施設への思いが深まった。当法人の素晴らしさの源流は、この理事長の考え方・生きる姿勢である。理事長が、ご利用者・職員の幸せを本当に第一にしていること、弱者へのいたわりの気持ち、人生に対する謙虚な思い、姿勢を一人ひとりの職員が感じ取ったことと思う。私自身も理事長の優しさや思いやりが心にしみいる1時間であった。法人の品格はその法人のトップが決める。この理事長のもとで働けることを生涯の喜びとしたい。